永年の懸案事項が県との協議で実現！

PICK UP

横塚宮戸川に仮橋が架かりました

橋の老朽化と幅員の狭さから架け替え工事が行われていた横塚の宮戸川に仮橋が架かりました。

補助率
国 55%・町 45%

仮橋完成により車両のすれ違いが可能になり安心して走行できるようになりました

仮橋のため、道路走行時はカーブや勾配にご注意を

平成26年度から事業が行われている、横塚の宮戸川に架かる橋の架け替え工事について、このたび仮橋が架かりました。仮橋の設置工事は平成29年2月より着手し、5月上旬に完成して交通の切り替えを行っています。仮橋へ取り付く道路はカーブや勾配がきつくなっておりますのでご注意ください。

従来の宮戸川の橋は、幅員が狭いため、車等のすれ違いができず、また老朽化も危惧されていましたが、現在は撤去も完了しています。

仮橋の完成により、今後は新しい橋の工事も本格的に始まります。今年度は橋の基礎となる橋梁下部工の工事を予定しており、以降は橋の架設、取付部分の道路整備工事と順次着手して早期開通に向けて進めていきます。新しい橋は橋長17・45メートル、幅員構成は歩道2メートル車道8メートルとなっており、旧橋があった場所に施工されます。工事完了までご迷惑及びご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどお願いいたします。

幅員の狭さと老朽化が心配されていた旧橋

Voice

横塚区長
島根孝男さん

仮橋完成に感謝するとともに工事の完成を願います

横塚行政区の永年の懸案事項でありました、この宮戸川に架かる橋梁整備に就任早々取り組まれた橋本正裕町長始め関係機関及び関係地権者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

以前は橋の狭さが原因で宮戸川に車両等が転落するなどの事故が絶えませんでした。本橋の架け替え工事が一日も早く完成しますことをご祈念いたします。

境高校で投票の大切さ講演

「18歳選挙権」出前講座

境高校３年生 240 人の前で選挙の大切さについて講演

●茨城県選挙管理委員会書記・茂木建太さん

君たちが未来を決める！
ぜひ投票所へ

●境町参与・塙佳憲さん

選挙は入り口
世の中を知るきっかけに

高校生の皆さん満18歳になったら選挙に行きましょう

6月8日、県立境高等学校3年生を対象に18歳選挙権に関する出前講座が開かれました。茨城県選挙管理委員会の茂木建太書記が選挙制度について説明したほか、同じく18歳選挙制度が施行された昨年（平成28年6月）に満18歳だった塙佳憲参与が投票の大切さを語りました。

茂木書記は、制度改正により全国で約２４０万人、県で５万７０００人が新たに有権者に加わったと説明。若年層の投票率が高齢者層に比べて低いことを示し、「高校生でも今の生活に不満はあるのでは？　消費税が高いとか、環境のよいところで勉強したいなど、それらは最終的には選挙で選ばれた政治家が決めていく。若年層の投票率が上がることは、若者の暮らしやすい社会づくりにつながる」と説明しました。

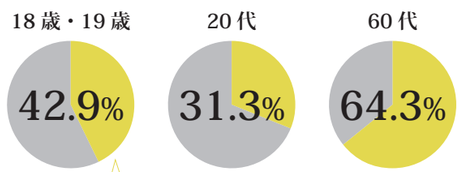
塙参与は、「大人になるってどういうこと?」をテーマに選挙の大切さを訴え、「赤ちゃんからお年寄りまで幸せになる方法を考えられたら一番いいけれど、それは難しい。少なくとも自分がどうしたいかを考えて投票をしてほしい」と、呼びかけました。

18 歳 選 挙 権 の 意 義

若者の政治意識を高めて政治離れを防ぐ
「選挙なんて俺（私）には関係ない、政治は難しい」ではなく、身近な生活が政治に大きく関わっていることを知ってもらう。

若者の意見を政治に反映することができる
自分が応援したい候補者や政党に投票することで、自分が投票した人を通じて、自分の意見を政治に反映することができる。

投 票 率※



18 歳の皆さんが引き続き選挙へ行ってくれれば、投票率の底上げに！

※平成 28 年 7 月 10 日参議院選挙時の県内データ

Voice

境高校３年
杉山 颯（はやと）さん

自分の一票で自分たちの生活を作っていく意識を

選挙について、あまり自分には関係がないと思っていたのですが、今回の授業を聞いて自分の意見が生活にすごく関わっていることを知り、選挙に行こうという気持ちになりました。授業の中で、「自分の一票で自分たちの生活を作っていくという意識が大切」という言葉が心に残りました。

Voice

境高校３年
金子 茉由（まゆ）さん

これからの社会を作る私たちの一票が大切

今までは政治、選挙についてあまりよく分からなかったし、自分には関係がないと思っていたのですが、関心を持つことができました。若者がこれからの社会を作っていくので、選挙に行くことが大切だと思いました。「選挙が自分たちの生活に密接に関わっている」とは思っていなかったので、いい勉強になりました。